

平成 30 年 8 月 21 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 30 年 8 月 21 日 (火曜日)

午後 3 時 10 分から午後 4 時 03 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

教育長 高橋 譲 委 員 鷲尾 達雄 委 員 羽賀 友信
委 員 青柳 由美子 委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	金澤 俊道	子ども未来部長	波多 文子
教育総務課長	曾根 徹	教育施設課長	遠藤 雄一
学務課長	佐藤 正高	学校教育課長	小池 隆宏
学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久	学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之
学校教育課主幹兼管理指導主事	丸山 巧	中央図書館長	山田 あゆみ
科学博物館長	小熊 博史	子ども家庭課長	大矢 芳彦
保育課長	田辺 亮	青少年育成課長	斎藤 裕子
学校教育課企画推進係指導主事	小嶋 修		

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 安達 紀子 教育総務課庶務係長 佐藤 裕
教育総務課庶務係 内藤 貴幸

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 35 号	平成 29 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について
3	第 36 号	条例改正の申出について (長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正)
4	第 37 号	補正予算の要求について
5	第 38 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

7 会議の経過

(高橋教育長) これより教育委員会 8 月定例会を開会する。

◇日程第 1 会議録署名委員について

(高橋教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

◇日程第 2 議案第 35 号 平成 29 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について

(高橋教育長) 日程第 2 議案第 35 号 平成 29 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について を議題とする。事務局の説明を求める。

(金澤教育部長) 7 月 11 日事務評価委員会を開催し、事務局から説明と質疑応答を行った。8 月 17 日に事務評価委員会から「点検及び評価結果」の提出があり、事務評価委員会から全体を通しての意見として、『きめ細やかな取組が着実かつ丁

寧に実施されており、ほとんどの取組において成果を挙げている。』、『熱中！感動！夢づくり教育や子育て支援など、教育や子育てに向けた様々な施策が実施され、「米百俵のまち」「子育てしやすいまち」が具現化されてきている。』、『「レイマンコントロール」が確保され、偏りのない市民目線で審議がなされている。』などの高い評価をいただいた。一方で、『今後ますます支援が多様化・複雑化し、さらに関係機関との連携が重要となるので、様々な悩みをワンストップで解決できる仕組みを作ったりするなど、横断的な事業展開を図っていく必要がある。』、『「働き方改革」は教育の分野でも最重要課題であることから、今後も国や県の施策に加え、市独自の取組も積極的に進めてほしい。』との要望もいただいた。教育委員会の開催及び審議状況等についてと教育委員会における事務の点検・評価についての意見は、報告書に記載のとおりである。いただいた意見を参考に、今後もより良い教育環境や効果的な事務事業につなげていきたい。本日決定する評価報告書は9月議会に提出し、報告する。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第3 議案第36号 条例改正の申出について（長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正）

(高橋教育長) 日程第3 議案第36号 条例改正の申出について（長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正）を議題とする。事務局の説明を求める。

(田辺保育課長) 小規模保育（定員6人以上19人以下）、家庭的保育（定員5人以下）、居宅訪問型保育、事業所内保育（主として従業員の子どものほか、地域において保育を必要とする子どもにも保育を提供）の4つを家庭的保育事業等と条例で総称している。市内の保育施設数は、小規模保育は13施設、家庭的保育と居宅訪

問型保育はなし、事業所内保育は3施設ある。4つの保育形態は、平成27年度から国が施行した子ども・子育て支援新制度において、市町村による認可事業として児童福祉法に位置づけ、地域型保育給付の対象としたものである。家庭的保育事業等を行う場合には、配置保育士の人数、保育地の面積を厚生労働省の基準に基づき各自治体が条例を定めている。今回は、厚生労働省の基準改正に伴い、市も同様の改正を行うものである。改正内容は、二つある。一つ目は、代替保育の改正である。家庭的保育事業等を行う場合は、職員が病気等で急に保育を提供することが出来なくなった場合に、代わりに保育を行う施設をあらかじめ確保しなければならない。連携施設はこれまで、保育園・幼稚園・認定こども園だけが認められ、他の家庭的保育事業等を行う者は認められていなかった。今回の改正では、これまでの連携施設で確保が著しく困難な場合には他の家庭的保育事業等と連携することを認めるものである。市はすでに、小規模保育施設と事業所内保育施設から事業開始前に連携相手を届出てもらっており、改正の影響はない。二つ目は、給食提供の改正である。家庭的保育事業の給食は、自園で調理することが原則である。特例として、連携施設が調理をして搬入することや、同一法人・関連法人が運営する他園から搬入することが認められていた。今回の改正は、家庭的保育事業に限り、保育園・幼稚園から受託している事業者からの調理搬入も認めるものである。市では、家庭的保育事業は実施していないため影響はない。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第4 議案第37号 補正予算の要求について

(高橋教育長) 日程第4 議案第37号 補正予算の要求について を議題とする。事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 平成30年度9月議会に提案する補正予算について説明する。

教育総務課は、寄附金受け入れに係る補正予算である。学校図書の充実に役立ててほしいという申出があり、寄附者の意向に沿い中学校図書館の図書を購入するものである。平成 23 年度から毎年 25 万円の寄附をいただき、今回で 8 回目となる。中学校 2 校の図書購入費に充てる予定である。25 万円の寄附金歳入に対し、25 万円の図書整備費を計上する。

(遠藤教育施設課長) 教育施設課の歳出補正額 45 万 2 千円は、平成 29 年度新潟県保育対策総合支援事業費補助金返還金である。平成 29 年度に改修工事をした公立保育園 5 園のうち 2 園で返還金が生じたため、県に返還するものである。

(山田中央図書館長) 中央図書館の歳入補正額は社会教育費寄附金 100 万円である。図書館 100 周年にあたり公益財団法人 日本互尊社より図書館の充実・発展に役立ててほしいと寄附の申出があった。歳出補正額は、図書購入費 100 万円であり、寄附者の意向に沿い古地図などの郷土資料や図書館資料を充実させる。

(大矢子ども家庭課長) 子ども家庭課の歳出補正額 103 万 5 千円のうち 101 万 1 千円は、児童虐待・DV 対策等総合支援事業費国庫補助金返還金である。要保護児童対策地域協議会の臨時職員が年度途中で退職し、受け入れていた補助金が余ったため返還するものである。また、子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金返還金 2 万 4 千円は、保育士など職員の資質向上のための、講習会や研修会実施時の経費の余りを返還するものである。

(田辺保育課長) 保育課の歳入補正額は 8,571 万 1 千円で、歳出補正額は 1,141 万 7 千円である。歳入の内訳は、子どものための教育・保育給付費国庫負担金など、私立保育園やこども園への委託費や給付費が、実績の児童数より見込み児童数が上回ったため追加交付となったものである。次に歳出の内訳であるが、子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金などの平成 29 年度事業費が確定した結果、実績額が見込み額を下回り返還が生じたものである。児童手当交付金は歳入・歳出のいずれにも計上されているが、歳入の児童手当交付金精算金は特例給付で、見込みより実績が上回ったため国から追加交付となったものであり、歳出の児童手当交付金返還金は、見込みより実績が下回ったため返還をするものである。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 教育施設課の歳出の返還金の返還理由は何か。

(遠藤教育施設課長) 概算で補助金を受けており、見込みより実績が下回ったからである。

(高橋教育長) 子ども家庭課の100万円の返還は、後任を採用できれば返還の必要はなかったのか。

(大矢子ども家庭課長) そのとおりである。後任の求人募集をしていたが、応募がなかった。

(高橋教育長) 他に、質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第5 議案第38号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(高橋教育長) 日程第5 議案第38号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 平成30年度長岡市教育委員会表彰大人の部の被表彰者は、21名が対象でそれぞれ要件を満たしている。表彰式は、11月14日にさいわいプラザで予定している。

(高橋教育長) 定例会前の表彰ヒアリングを踏まえ、各表彰候補者について、表彰者として適している否かを決定する。対象者は、条項第3号の5名、第5号の1名、第6号の5名、第7号の8名、第8号の2名である。全員、「適」として決定したいと思うが、いかがか。

[全員了承]

(高橋教育長) 候補者全員、「適」と決定する。

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議については終了した。

(高橋教育長) 次に、協議報告事項に移る。最初に、平成30年度全国学力・学習

状況調査結果概況について であるが、この内容については、非公開が適当ではないかと思うが、他の委員の方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) では、非公開とする。

会議規則第 20 条第 2 項の規定により記録中止

(高橋教育長) 非公開はここまでとする。

(高橋教育長) 次に、附属機関等会議報告について 事務局の説明を求める。

(山田中央図書館長) 7月30日に中央図書館2階の講座室で、平成30年度第1回長岡市図書館協議会を開催した。出席者は、図書館協議会委員10名全員と中央図書館長、他事務局7名である。会議では、平成29年度長岡市図書館活動評価と平成30年度長岡市立図書館の運営方針を報告し、承認された。大手通坂之上町地区の市街地再開発事業について、現状の概略を説明した。そして、平成30年度長岡市図書館活動評価(案)について協議し、本年度の活動が承認された。主な意見・質問は記載のとおりである。

(小熊科学博物館長) 平成30年度第1回長岡市寺泊水族博物館協議会報告をする。7月13日に長岡市寺泊文化センターはまなすで開催した。出席者は寺泊水族博物館協議会委員7名と、金澤教育部長、菅沼寺泊支所地域振興課長、河上政策企画課課長補佐、小熊科学博物館長、青柳水族博物館長、寺泊水族博物館職員3名である。会議では、平成30年度事業実施計画・状況について説明をした。そして、水族博物館整備事業の計画(概要)として、平成29年度の改修工事の状況説明と平成30年度の予定について説明した。主な意見・質問では、寺泊水族博物館には年間パスポートがないが導入を検討してはどうかとの意見があった。回答として、年間パスポートは利益増収とはなりにくいため導入はしていないこと、リピーター獲得の方策として、冬期に中学生以下の入館料を無料にするキャンペーンを実施していること、4月から新たに、前に来場した時の半券を持参すると割引を行うなどの誘客に努めていることを説明した。また、8月18日から寺泊地区に「長岡市トキと自然の学習館」がオープンするがどのように連携するのかと質問があった。一般公開施

設「トキみ〜て」がオープンしたばかりのため、開館の状況のみて検討したいと回答した。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) これにて、協議報告事項を終了する。

(高橋教育長) 次に、催し案内等について、補足説明のあるものは挙手願う。

(小池学校教育課長) 小学生ロボコンは、昨年度参加者 150 人で主にクラブ活動での成果を発表し、5・6年生が対象である。現在応募は、50 名程度であるが9月5日までの締切のため昨年程度の参加者を見込んでいる。個人で決められたエリアにボールをいくつ入れられるかを競うものと対戦型の2種目である。

(山田中央図書館長) 読み聞かせボランティア養成講座 絵本のよろこびを9月22日に開催する。新潟市で野いちご文庫を主催している伊藤美智子氏を講師に迎える。毎年講師を変えて開催しているが、保育士やボランティアの方からすぐ応募がある人気の講座である。古文書解読講座の古文書にみる長岡のすがたは、全4回で県立歴史博物館の学芸員などが講師を務める。栃尾美術館の秋の企画展として、ミニチュワワンダーランド 世界のドールハウス展を開催する。ヨーロッパ中世の子どもの知育玩具として人気であったドールハウスのコレクションを、箱根ドールハウス美術館から借用して展示する。9月29日・30日に栃尾美術館アトリエでとちびまつりを開催する。毎年実施しており、昨年度も多くの集客があった催しである。

(小熊科学博物館長) 寺泊民俗資料館が、8月18日にリニューアルオープンした。野生のトキが飛んでいた頃の昭和初期から昭和30年代までの寺泊の「農業」「漁行」「暮らし」を復元した。約370点の民具を展示し、日々の食事や行事のご馳走を食品サンプルで復元して紹介している。以前は塩見台の旧寺泊中学校の古い校舎を使用していたが、トキを見学できる施設「トキみ〜て」が夏戸のトキ分散飼育センターにオープンしたため、それに合わせて移転リニューアルした。徳川の栄華―徳川家、日光東照宮、牧野家ゆかりの名品―が9月15日から11月4日まで新潟県立歴史博物館で開催される。国宝・重要文化財を含む徳川家、日光東照宮、牧野家にゆかりの貴重な文化財約160点を展示し、歩みを振り返るものである。テレビや新聞などで、(公財)徳川記念財団が所有する外交関係で使用した銀印が話題になった

が、この度、期間限定で初公開する。

(大矢子ども家庭課長) 人形劇団むすび座による人形劇は、長岡ロータリークラブが地域貢献事業として5年計画で実施している事業である。思春期世代の保護者向けストレスマネジメント講座「思春期 今しかできない子育て」を3回連続講座として開催する。対象は中学生および小学校高学年の保護者である。9月30日に子育ての駅千秋てくてくて第18回子育てフェスティバルを開催する。例年にぎわっており、3,000人弱の来場者がある大イベントである。

(斎藤青少年育成課長) 9月30日第19回ながおかポニーカーニバルを市民防災公園で開催する。昨年度は、2,900人の来場があった。今年は子育てフェスティバルと「すこやか・ともしびまつり」と同日開催である。

(高橋教育長) その他に報告事項はあるか。

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員